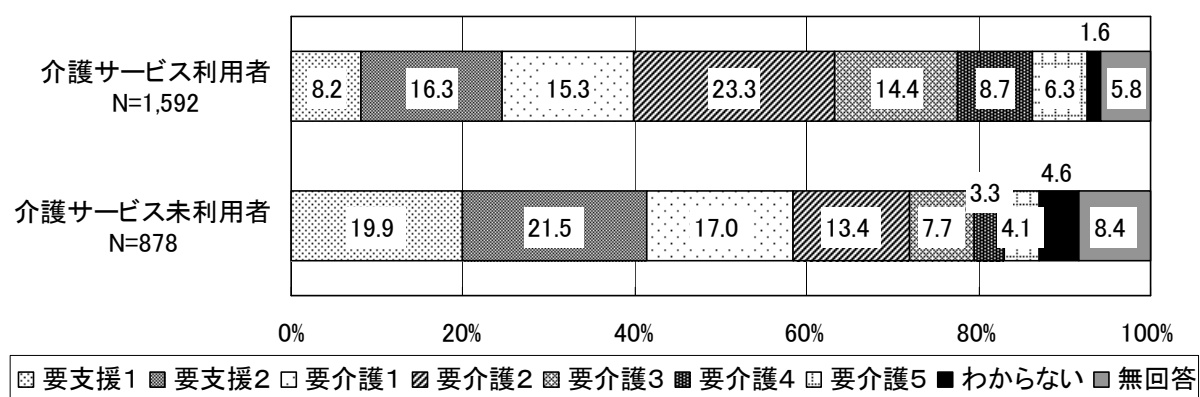


11. 介護保険サービスの利用状況

(1) 要介護認定の状況

ア. 要介護度の状況をみると、介護サービス利用者は、「要介護2」の割合が高く、介護サービス未利用者は「要支援1」及び「要支援2」の割合が高くなっている。

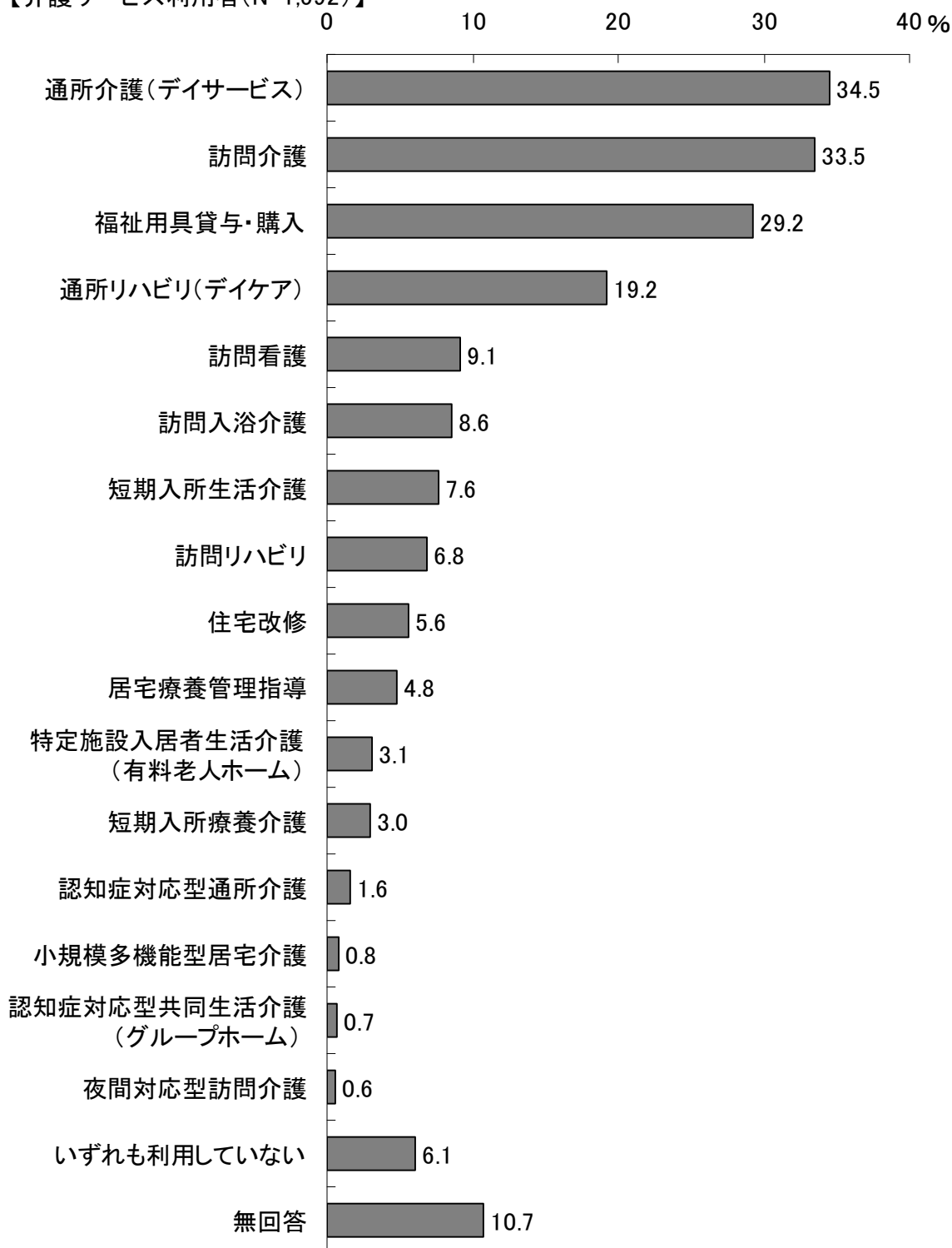


図表 90 要介護度 (単数回答)

（２）介護保険サービスの利用状況と今後の利用意向

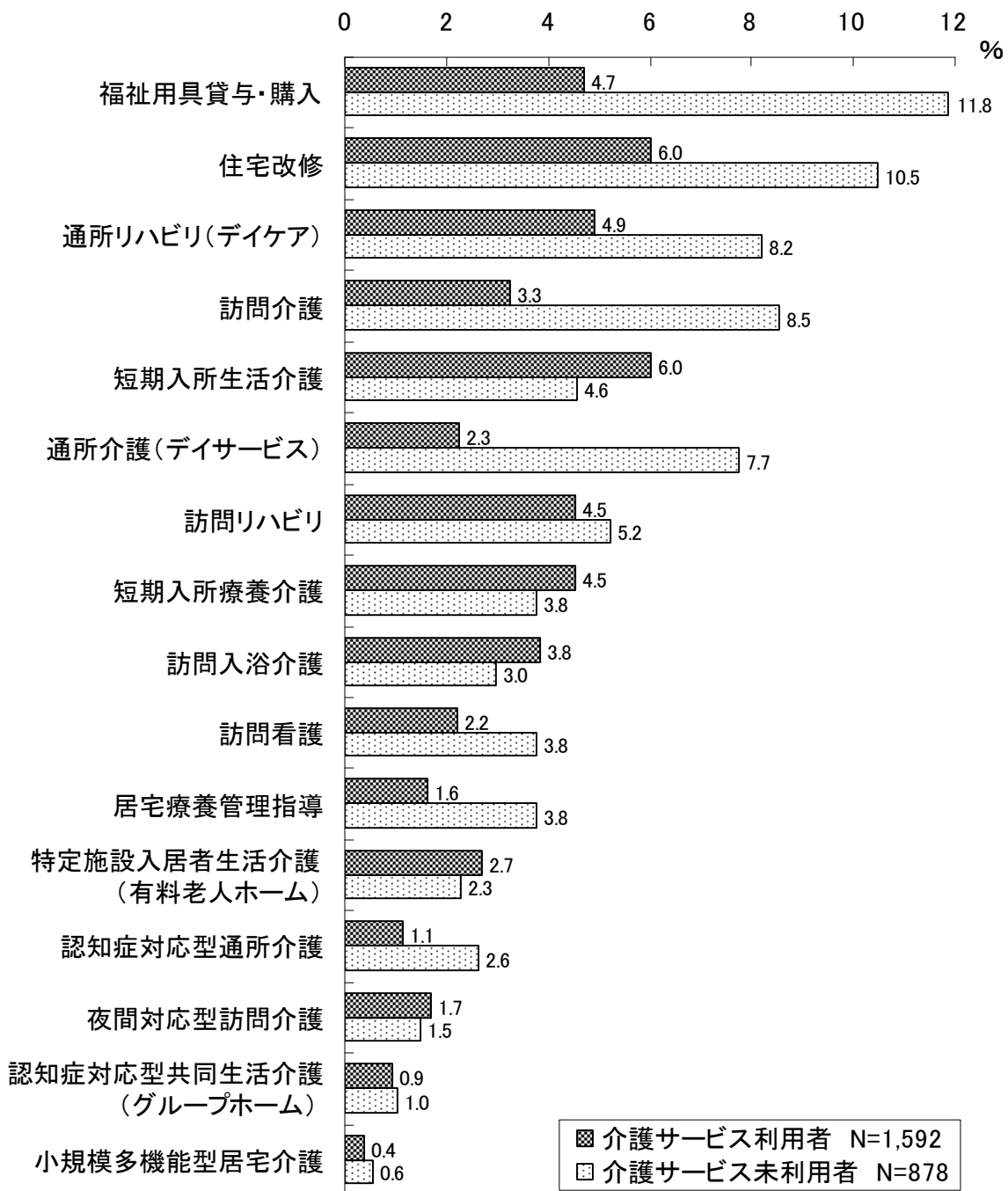
ア．平成 22 年 9 月～11 月の間に利用した介護保険サービスをみると、「通所介護」「訪問介護」「福祉用具貸与・購入」の利用者が多くなっている。

【介護サービス利用者(N=1,592)】



図表 91 介護サービスの利用状況／介護サービス利用者（複数回答）

イ. 今後1年間にあらたに利用したい介護保険サービスをみると、各サービスともに、介護サービス利用者よりも介護サービス未利用者の方が、利用意向が高く、「福祉用具貸与・購入」「住宅改修」「通所リハビリ（デイケア）」「訪問介護」の利用意向が高くなっている。



※「無回答」介護サービス利用者(52.4%)、
介護サービス未利用者(49.9%)は非表示

図表 92 介護保険サービスの利用状況と今度の利用意向 (複数回答)

※上記の分析は、今後、新たに利用したいサービスに対する意向を把握するため、平成22年9～11月に利用したと回答しているサービスと同じサービスを回答した場合を除いた数により集計した。このため、単純集計の数値とは一致しない。

(3) 要介護度の変化

ア. 介護サービス利用者、介護サービス未利用者について、平成21年3月時点から、平成22年12月時点（調査実施時点）までの間、どのように要介護度が変化（改善、変化無し、悪化）したかの状況を比較した。

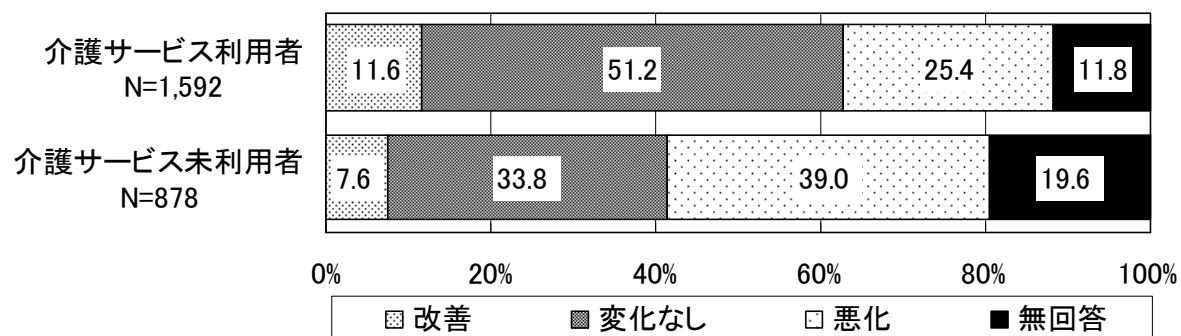
	現在 H21.3	全体	現在の要介護度(平成22年12月)								
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
平成21年3月の要介護度	全体	1592 100.0	131 8.2	259 16.3	243 15.3	371 23.3	230 14.4	139 8.7	101 6.3	25 1.6	93 5.8
	要支援1	127 100.0	64 50.4	45 35.4	6 4.7	4 3.1	2 1.6	1 0.8	1 0.8	0 0.0	4 3.1
	要支援2	237 100.0	31 13.1	135 57.0	26 11.0	17 7.2	12 5.1	9 3.8	1 0.4	0 0.0	6 2.5
	要介護1	222 100.0	11 5.0	16 7.2	125 56.3	47 21.2	8 3.6	6 2.7	1 0.5	0 0.0	8 3.6
	要介護2	318 100.0	1 0.3	15 4.7	32 10.1	220 69.2	30 9.4	9 2.8	2 0.6	2 0.6	7 2.2
	要介護3	215 100.0	2 0.9	7 3.3	5 2.3	29 13.5	131 60.9	24 11.2	14 6.5	0 0.0	3 1.4
	要介護4	113 100.0	0 0.0	0 0.0	2 1.8	9 8.0	16 14.2	72 63.7	9 8.0	0 0.0	5 4.4
	要介護5	77 100.0	0 0.0	1 1.3	0 0.0	0 0.0	3 3.9	4 5.2	68 88.3	0 0.0	1 1.3
	非該当(自立)	20 100.0	2 10.0	2 10.0	7 35.0	3 15.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	申請していない	120 100.0	10 8.3	22 18.3	30 25.0	24 20.0	15 12.5	8 6.7	2 1.7	5 4.2	4 3.3
	わからない	32 100.0	1 3.1	0 0.0	3 9.4	4 12.5	3 9.4	2 6.3	1 3.1	16 50.0	2 6.3
			改善	変化無し	悪化						

図表 93 要介護度の変化／介護サービス利用者（単数回答）

	現在 H21.3	全体	現在の要介護度(平成22年12月)								
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
平成21年3月の要介護度	全体	878 100.0	175 19.9	189 21.5	149 17.0	118 13.4	68 7.7	29 3.3	36 4.1	40 4.6	74 8.4
	要支援1	110 100.0	80 72.7	17 15.5	7 6.4	2 1.8	2 1.8	0 0.0	1 0.9	0 0.0	1 0.9
	要支援2	125 100.0	21 16.8	80 64.0	12 9.6	6 4.8	1 0.8	1 0.8	0 0.0	2 1.6	2 1.6
	要介護1	96 100.0	6 6.3	9 9.4	54 56.3	20 20.8	4 4.2	1 1.0	0 0.0	1 1.0	1 1.0
	要介護2	64 100.0	1 1.6	8 12.5	3 4.7	36 56.3	8 12.5	1 1.6	0 0.0	2 3.1	5 7.8
	要介護3	45 100.0	0 0.0	2 4.4	3 6.7	8 17.8	27 60.0	1 2.2	3 6.7	0 0.0	1 2.2
	要介護4	17 100.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	1 5.9	3 17.6	7 41.2	3 17.6	0 0.0	2 11.8
	要介護5	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	13 92.9	0 0.0	0 0.0
	非該当(自立)	36 100.0	8 22.2	5 13.9	3 8.3	4 11.1	5 13.9	3 8.3	4 11.1	1 2.8	3 8.3
	申請していない	235 100.0	40 17.0	50 21.3	59 25.1	34 14.5	15 6.4	12 5.1	10 4.3	7 3.0	8 3.4
	わからない	46 100.0	4 8.7	7 15.2	3 6.5	3 6.5	1 2.2	1 2.2	1 2.2	21 45.7	5 10.9
			改善	変化無し	悪化						

図表 94 要介護度の変化／介護サービス未利用者（単数回答）

イ. 要介護度の変化状況をみると、介護サービス利用者の1割強、介護サービス未利用者の1割弱に、要介護度の改善がみられる。

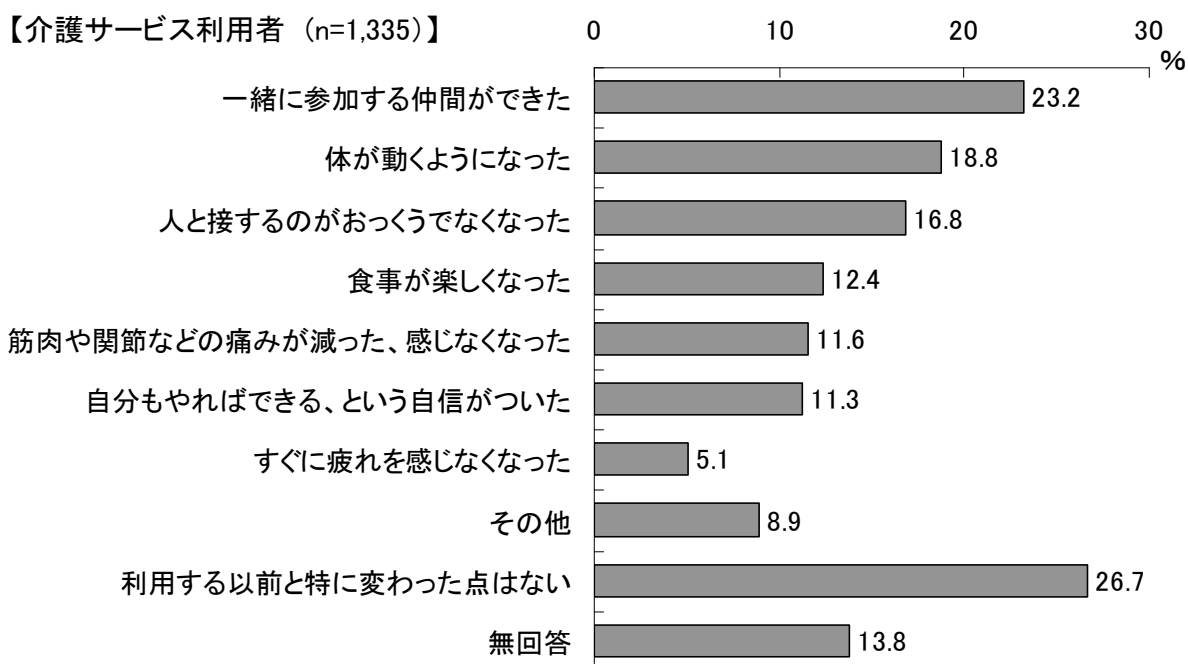


図表 95 要介護度の変化（平成 21 年 3 月→平成 22 年 12 月）（単数回答）

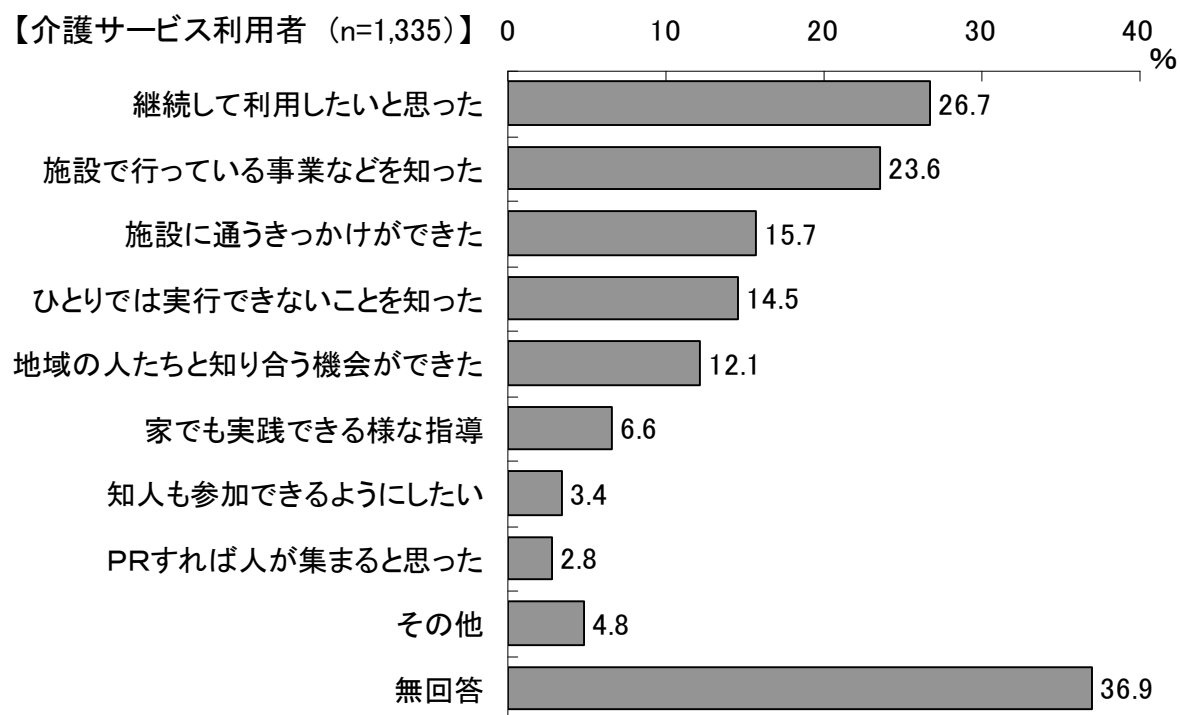
（４）介護保険サービス利用の効果

ア. 介護保険サービスを利用した効果をみると、「一緒に参加する仲間ができた」が２割強と最も多く、次いで「体が動くようになった」「人と接するのがおっくうでなくなった」となっている。

イ. 介護保険サービスを利用して感じたことでは、「継続して利用したいと思った」「施設で行っている事業などを知った」がそれぞれ３割弱となっている。



図表 96 介護保険サービス利用の効果／介護サービス利用者（複数回答）

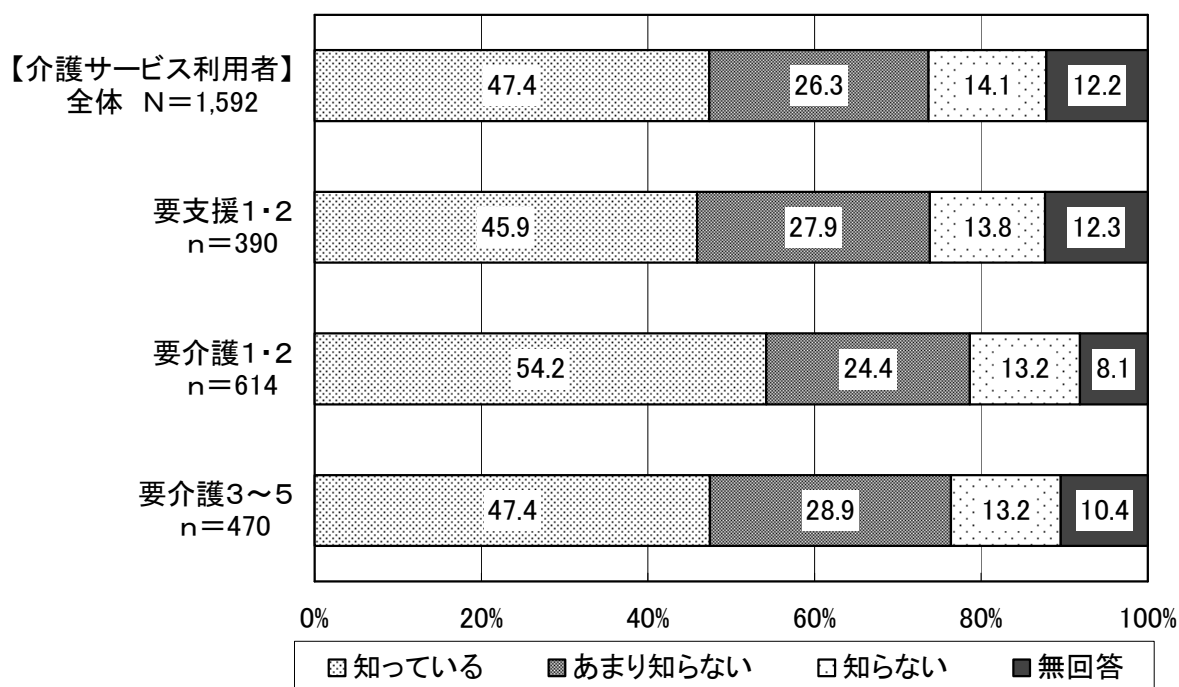


図表 97 介護保険サービスを利用して感じたこと／介護サービス利用者（複数回答）

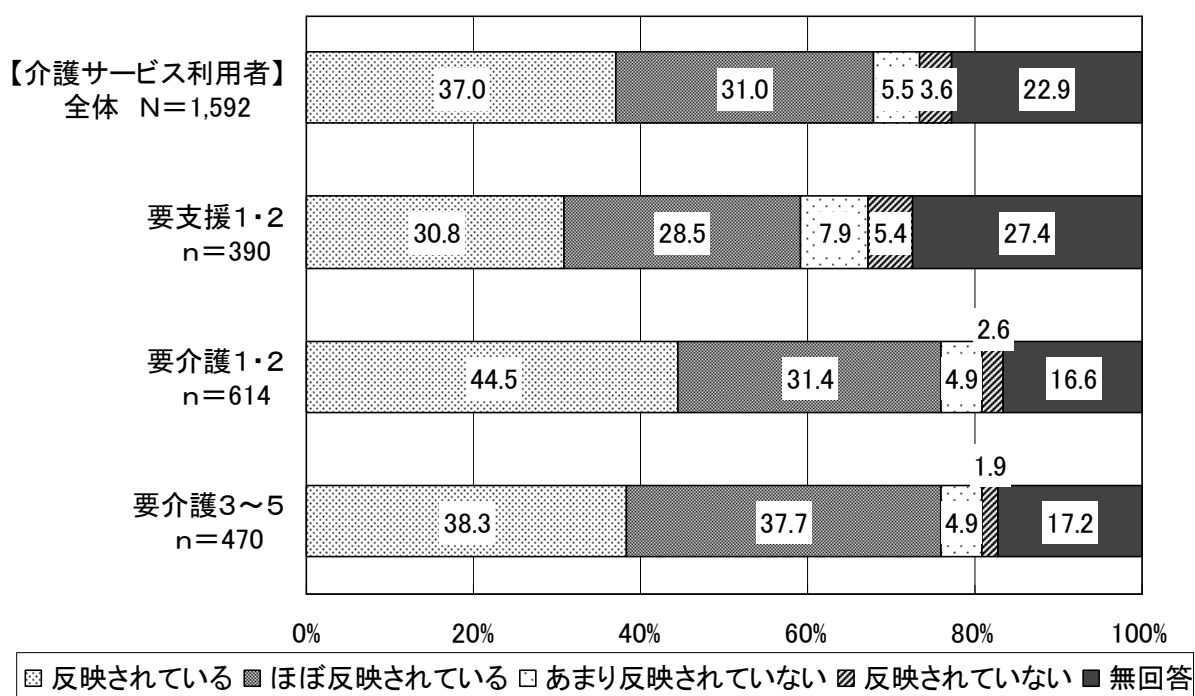
(5) ケアプランの理解等

ア. 自身のケアプラン内容への理解状況をみると、「知っている」は半数程度で、要介護1・2での割合がやや高い。

イ. ケアプランへの自分・家族の意見の反映状況についてみると、要介護では8割弱が『反映されている』（「反映されている」、「ほぼ反映されている」の合計）と回答しているが、要支援では6割弱となっている。



図表 98 ケアプランの周知状況 (単数回答)



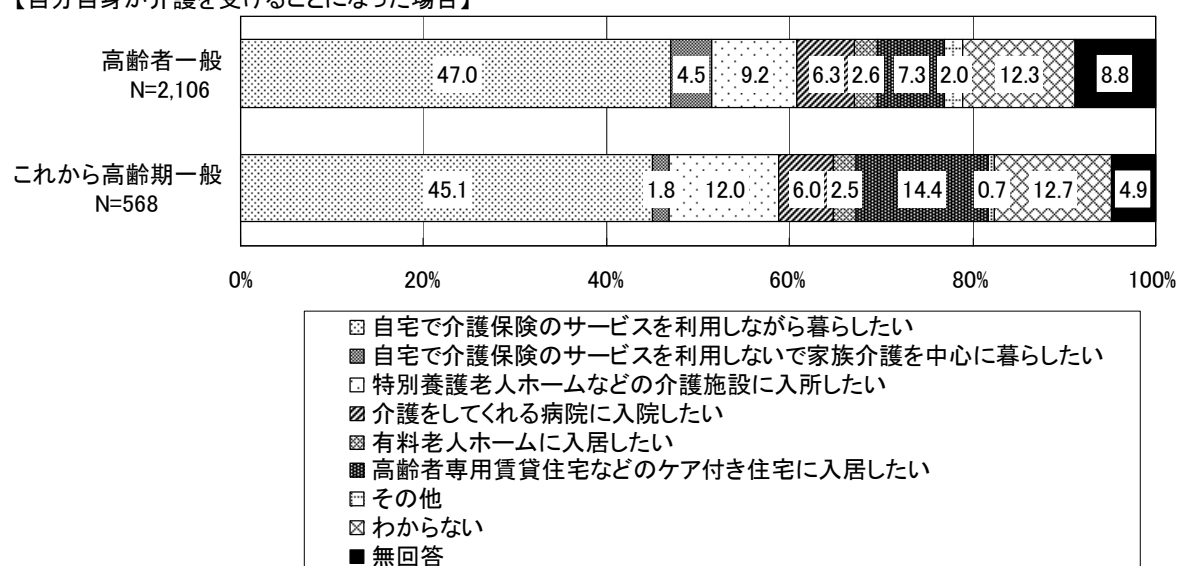
図表 99 ケアプランへの自分・家族の意見の反映状況 (単数回答)

(6) 希望する介護

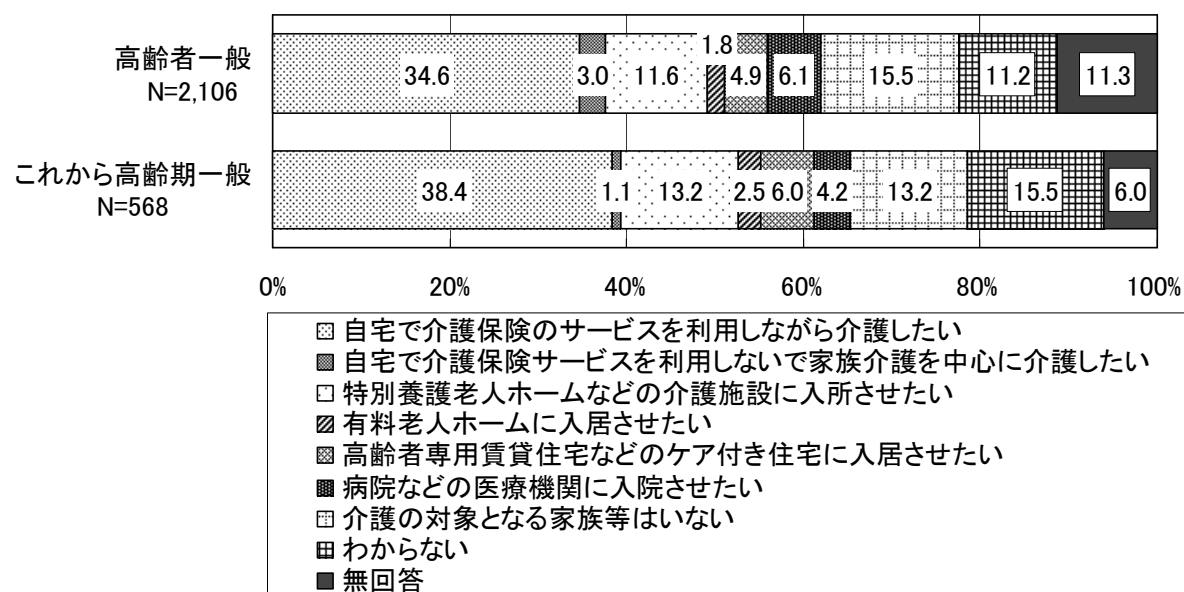
ア. 今後、自身が介護を受けることになった場合に、希望する介護についてみると、高齢者一般、これから高齢期一般とも「自宅で介護保険のサービスを利用しながら暮らしたい」が5割弱と高い。「特別養護老人ホームなどの介護施設に入所したい」は、1割程度に留まっている。

イ. 家族等が介護を受けることになった場合に、希望する介護についてみると、高齢者一般、これから高齢期一般とも「自宅で介護保険のサービスを利用しながら介護したい」が最も多い。

【自分自身が介護を受けることになった場合】



図表 100 自分自身が希望する介護 (単数回答)



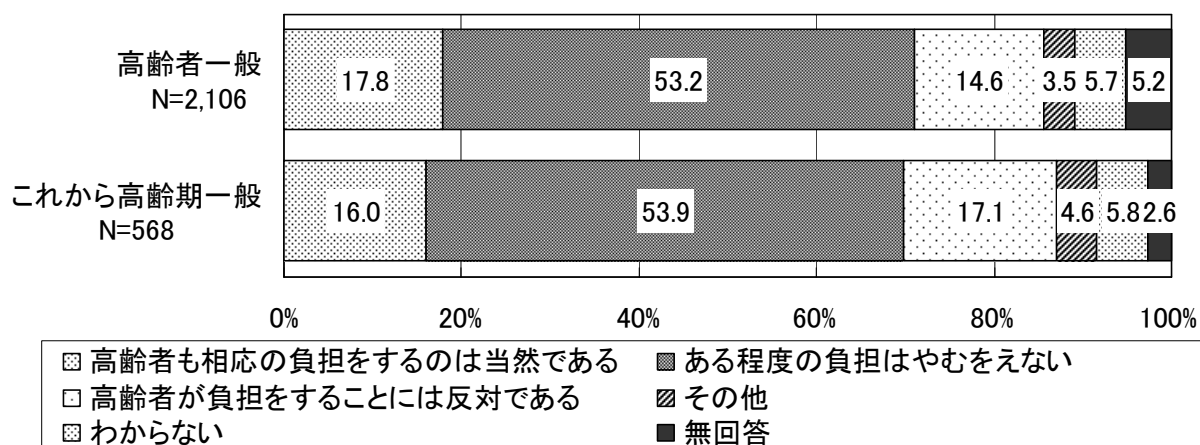
図表 101 家族等の介護の方法 (単数回答)

(7) 介護保険料の負担感

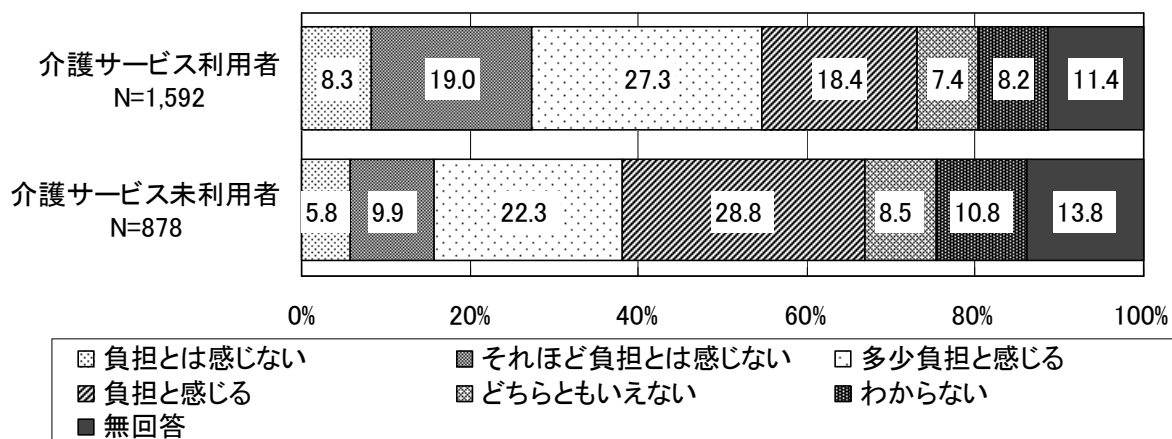
ア. 介護保険料の負担感についてみると、高齢者一般、これから高齢期一般とも「ある程度の負担はやむをえない」が5割強と高い。

イ. 介護サービス利用者は、『負担と感じない』（「負担とは感じない」と「それほど負担と感じない」の合計）が 27.3%であるのに対し、「多少負担と感じる」が同じく 27.3%、「負担を感じる」が 18.4%となっている。

一方、介護サービス未利用者では、『負担と感じない』が 15.7%、「多少負担と感じる」が 22.3%、「負担を感じる」が 22.8%と、負担を感じる割合の方が高い。

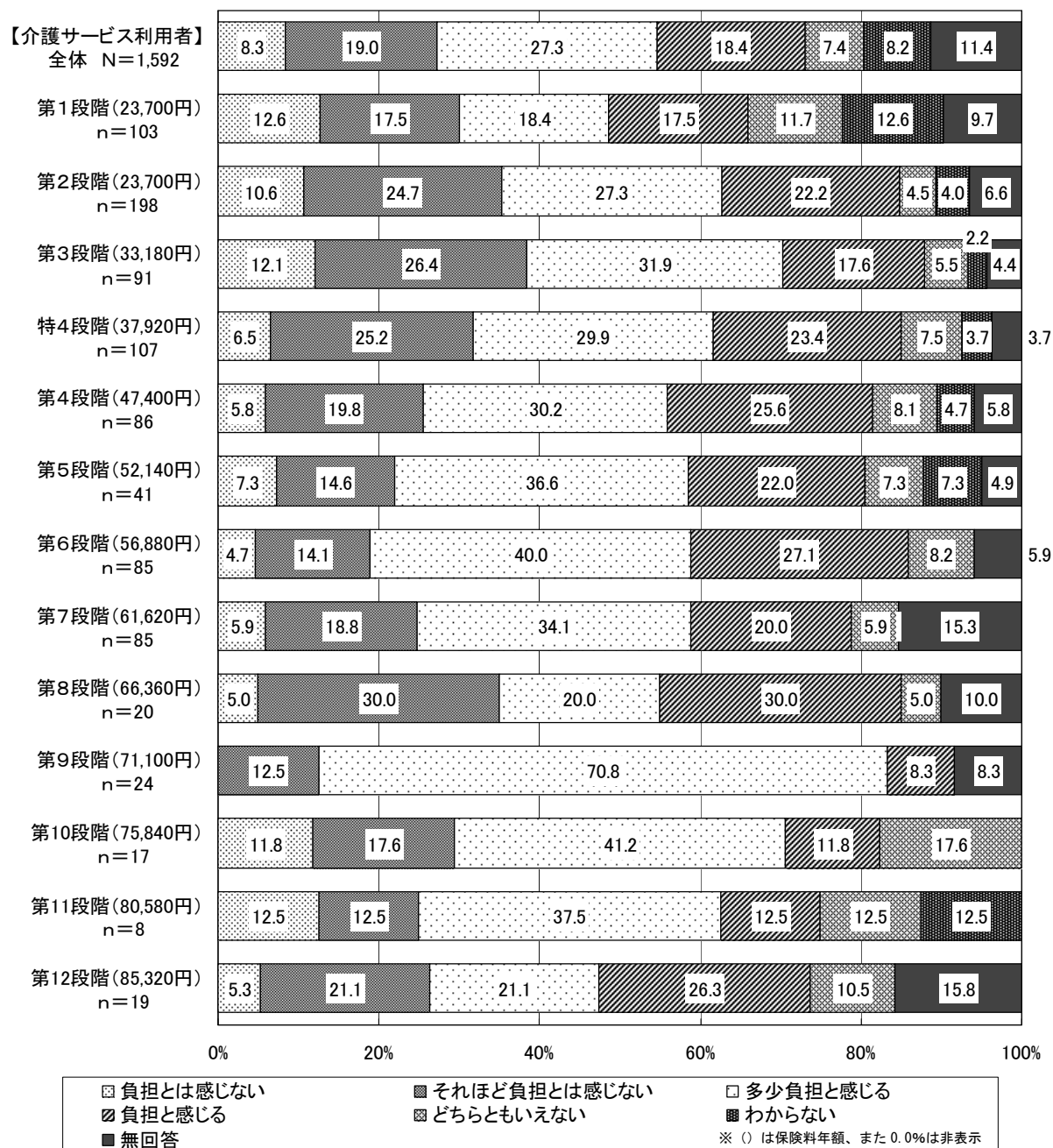


図表 102 40歳以上が介護保険料を負担することについて（単数回答）



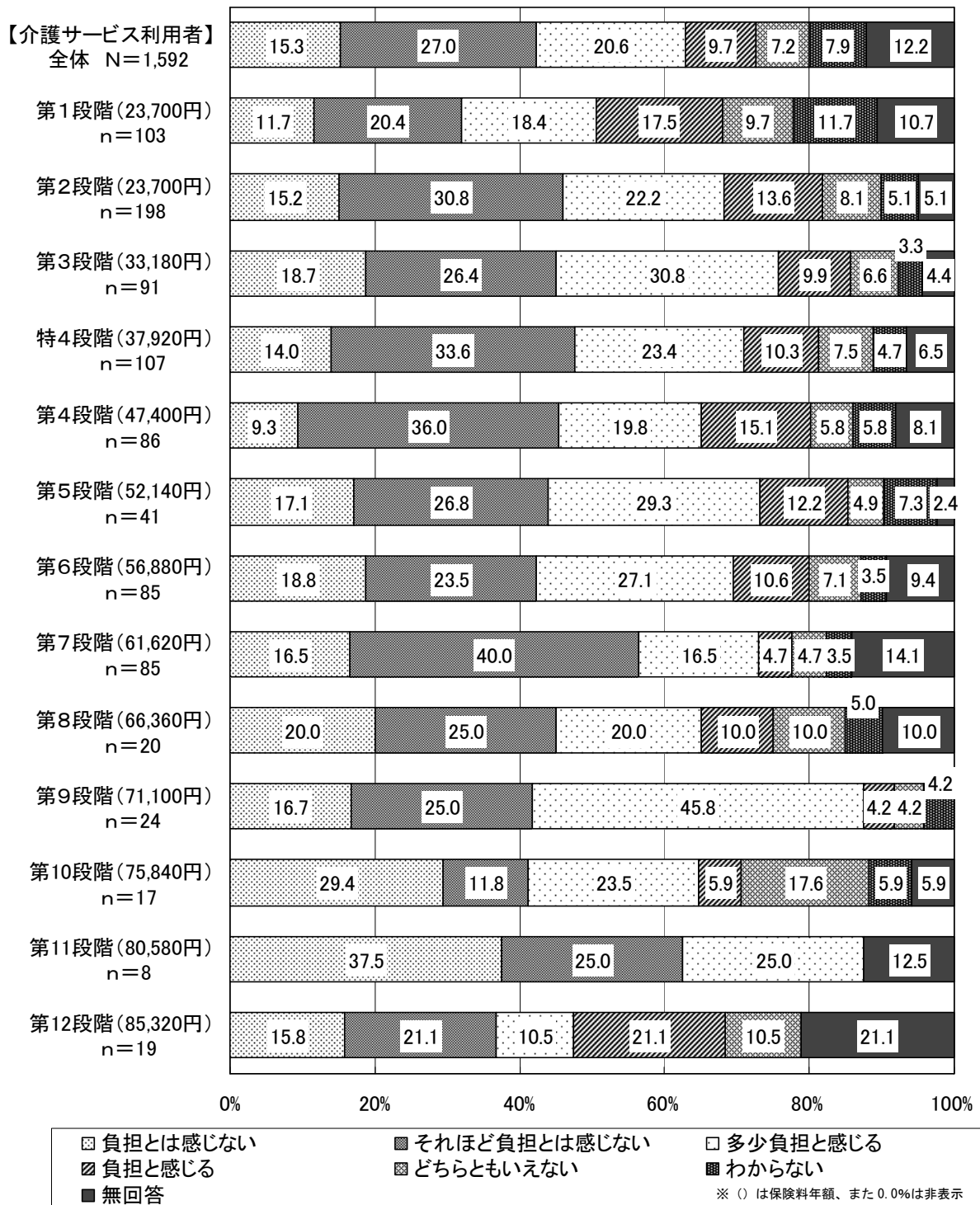
図表 103 介護保険料の負担感（単数回答）

ウ. 介護保険料の負担感について介護保険料別にみると、第1段階から第6段階までは段階が上がるにつれ、『負担と感じる』（「多少負担と感じる」「負担と感じる」の合計）の割合が高い。一方、第7段階以上では、第9段階を除き、それぞれ5割程度となっている。



図表 104 介護保険料段階 × 介護保険料の負担感 (単数回答)

エ. 介護サービス利用料 1 割負担について介護保険料別にみると、介護保険料段階により、サービス利用料が『負担とを感じる』（「多少負担とを感じる」、「負担とを感じる」の合計）が 2 割強～ 5 割程度となっている。

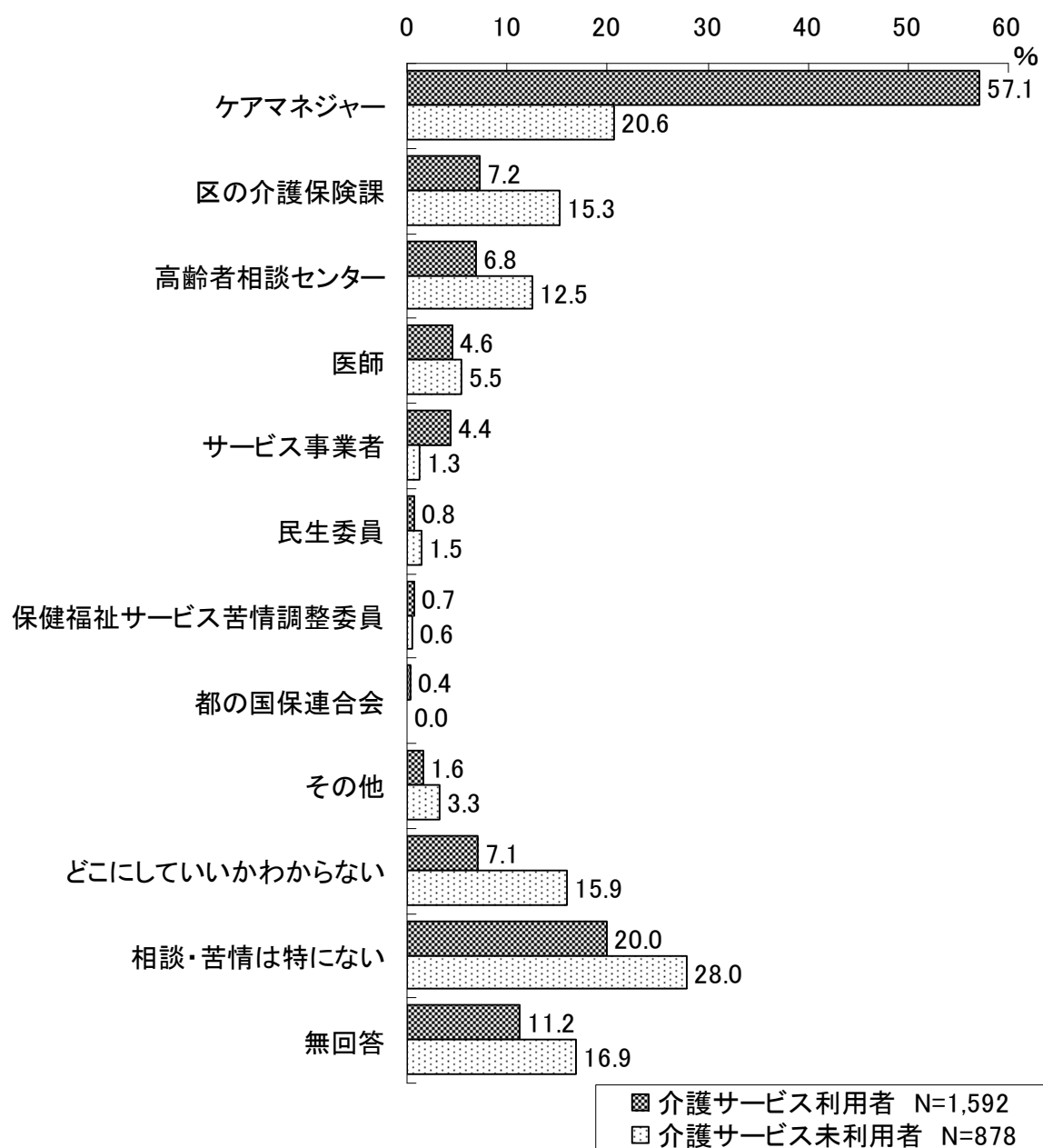


図表 105 介護保険料段階×介護サービスの利用料 1 割負担（単数回答）

(8) 介護保険サービスの苦情・相談先（再掲）

ア. 介護サービス利用者では「ケアマネジャー」の割合が最も多く 6 割弱となっている。

イ. 介護サービス未利用者では、苦情・相談先について「どこにしていいいかわからない(15.9%)」、「相談・苦情は特にない(28.0%)」と回答する割合が高い。

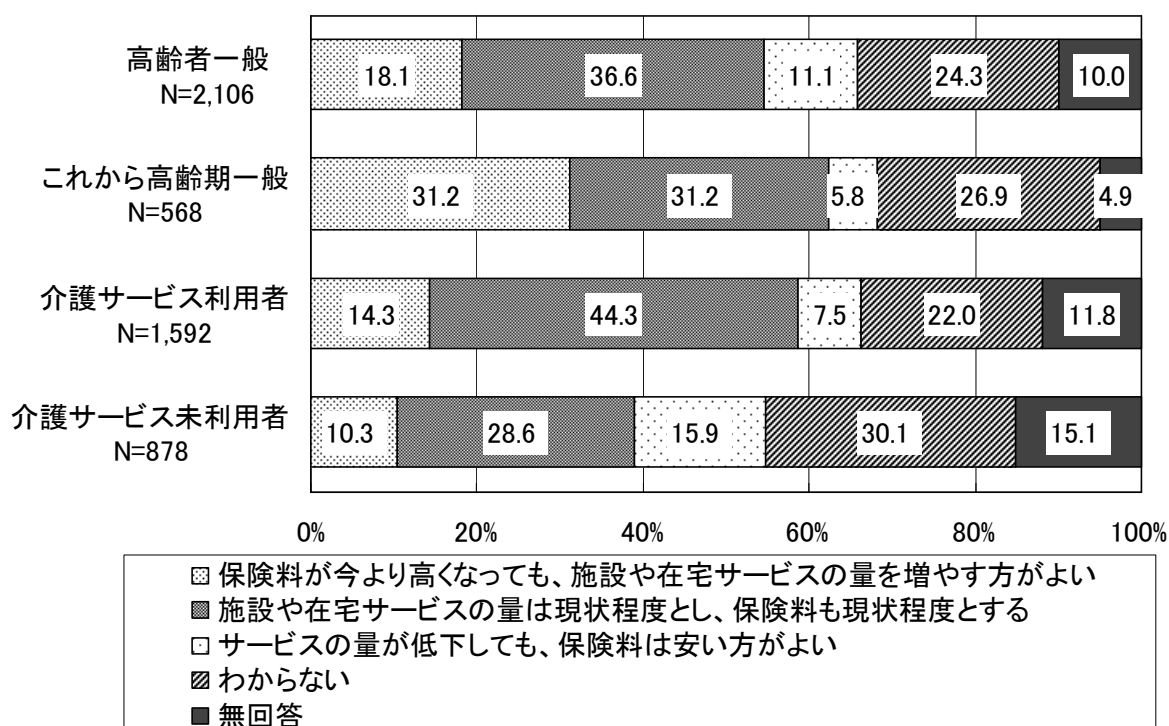


図表 106 介護保険サービスの苦情・相談先（複数回答）

（９）介護保険料とサービスの関係（介護保険制度に対する考え方）

ア. 高齢者一般、介護サービス利用者は、「施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とする」の割合が最も多い。介護サービス未利用者は、「施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とする」と「わからない」がそれぞれ３割程度となっている。

イ. これから高齢期一般は、「保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がよい」「施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とする」がそれぞれ３割強と、意見が分かれている。



図表 107 介護保険料とサービスの関係 （単数回答）